

日時：2021年9月14日（火）、19：30-21：00

オンライン(zoom)、無料

主催者の本講演の開催趣旨：学校を卒業したらどこかの会社に就職して一生安定した給料をもらうように雇ってもらい、それしか人生の選択肢はないと思込まされている人って多いのではないのでしょうか。NHKのクローズアップ現代+（2021年5月26日放送）では、労働者自らが自身を雇う労働者協同組合について取り上げました。農業の事例として取り上げられたのが愛媛県西予市にある農業法人「無茶々園」です。無茶々園では、農業の加えて福祉においても地域になくてはならない存在になっています。労働者自らが雇用をし、経営にも参画するとは具体的にどんなことなのでしょう。ぜひご参加ください。

農業と福祉における労働者協同組合の取り組み

～無茶々園を事例に～

講師：大津清次氏

講演要旨：有機農業から持続可能な地域づくりへ ～FEC 自給圏づくりへ～

無茶々園の有機農業運動から持続可能な地域づくりへ進んできたのか。40年間の取り組みの中から「共感経営」「協同労働」「エコロジーカル」をキーワードにした活動に紹介とこれからの都市と田舎の提携の考え方をお伝えできれば、そして本物の持続可能な発展の在り方を共に学べる機会になればと思います。



大津清次さんの略歴：(株)地域法人無茶々園、あけはまシーサイドサンパーク(株)と株式会社百笑一輝の代表取締役、地域協同組合無茶々園の専務理事、日本労働者協同組合連合会副理事長、パルシステム生活協同組合連合会の生産者・消費者協議会代表幹事

参加登録：Peatix から参加登録をお願いします。参加費は無料です。

<https://peatix.com/event/1995512/view>

上のリンクを開き、「チケットを申し込む」を選び、次の画面でチケット枚数「1」とし、さらに次の画面で「姓名（全角カナ）、メール、表示名」を必要に応じて入力してください。「チケットを申し込む」を押して、完了です。折り返し、参加のためのURLを送ります。